

令和2年度釧路市の研究活動

研修部長 釧路市立美原小学校

校長 佐々木 豊

1 はじめに

釧路市小中学校校長会は、小学校27名、中学校15名の42名の会員で構成されている。釧路市教育推進基本計画・教育行政基本方針に基づき、以下の基本方針のもと、校種別研修会と小学校と中学校が一体となった合同研修会（年4回）、教頭会と合同で行う釧路市学校経営研究協議会（年1回）を主軸に研修活動を進めている。

＜基本方針＞

- (1) 釧路市小中学校校長会の基本方針を踏まえ、教育改革の推進と教育課題を勘案しながら、校長として職能向上を図るため、組織的研究に努める。
- (2) 道小・道中などの基本課題に基づき、21世紀を担う日本人の育成を目指して、学校経営の活性化と経営の充実に反映する研究を推進する。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防の措置のため、十分な研修時間の確保が難しいが、そのような中であっても、校長としての職能向上のために、一層の連携を深め一枚岩の姿勢で「凛として立つ校長の教育理念と指導性」を目指し教育活動の推進に努めている。

2 研究計画

基本主題の設定に当たっては、①教育改革が多面的に進行する中、時代に対応し、それを実践へと結びつける姿勢を示すこと、②全連小・全日中・道小・道中との関連をもたせつつ、釧路市の独自性を大切にすること、③「経営研究」という視点を明確にすることの3点を基本に据えている。そして、研究分野を「学校経営」「教育課程」「道德教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育」「現職教育」の4分野の構成としている。

(1) 基本主題

「新しい時代や社会の要請に適確かつ先導的に対応できる学校経営の実現」
～道東の拠点、釧路市の特性を生かした学校教育の創造～

(2) 研究の視点

- ① 新しい学校づくりを目指す学校・家庭・地域の連携と校長の指導性
- ② 生きる力を育み創意ある教育課程の編成・実施と校長の指導性

(3) 研究分野・主題

① 学校経営分野（研究主題1）

「時代に対応し信頼と連携を基盤とした創意と活力に満ちた開かれた学校経営の実現」

② 教育課程分野（研究主題2）

「豊かな心や知恵をはぐくむ方略と評価が適切に位置付けられた教育課程の編成・実施・評価・改善」

③ 道德教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育分野（研究主題3）

「命を大切に、自立心や他を思いやる心をはぐくみ、目的をもって生きることの必要性を実感する道德教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育の実践」

④ 現職教育分野（研究主題4）

「時代の要請に応え、専門性を高め指導力向上を図る現職教育の充実」

(4) 研究推進・事業計画

主な研修事業として、①研修部年間計画の作成、②第64回「釧路市学校経営研究協議会」の開催、③校種別研修会の実施、④小中合同研修会の実施、⑤道小・道中・全連小・全日中大会開催についての情報提供及び参加企画渉外、⑥研修に関する調査研究と資料提供、⑦研修担当者の研修会の実施・研修委員会の計画と実施、⑧釧路市で開催される全国・全道規模の研究会への協力等を推進している。

3. 研究の概要、研究活動など

(1) 第64回釧路市学校経営研究協議会

- ◇開催日 令和3年1月19日(火)
- ◇場 所 釧路教育研究センター
- ◇主 催 釧路市小中学校校長会
- ◇参加者 総勢45名(助言：釧路教育局・釧路市教育委員会 参加：小中校長)
- ◇提 言 3分科会(小中合同分科会1 小中合同分科会2 小学校分科会)
各2名 計6名による研究提言

(2) 校種別研修会の開催

新しい時代を展望する創意ある学校経営や今日的な教育課題に主体的に対応する学校経営並びに当面する学校経営上の課題等を協議することにより校長としての指導力を磨くことに資する。(小学校年4回、中学校年3回の実施)

この他、小学校は7月に教育関係者との「情報交流研修会」、中学校は11月に退職者講話を中心とした研修を予定していたが今年度は中止。

(3) 小中合同研修会の開催(年4回 小中校長会時に実施)

- ◇第1回(5月) 特別委員会担当 ～ 学校における働き方改革(中止)
- ◇第2回(9月) 研修部担当 ～ 道小・道中に向けて(中止)
- ◇第3回(10月) 経営部担当 ～ GIGAスクール構想への対応(オンライン研修)
- ◇第4回(2月) 特別委員会担当 ～ 男女混合名簿導入の状況について

(4) 各種研究大会への参加及び報告

- ◇道小オホーツク・北見大会 ◇全連小京都大会
- ◇道中函館大会 ◇全日中和歌山大会
- *いずれも誌上交流となったため、参加者なし

4. おわりに

今年度は、定例の校長会議も時間を短縮して開催するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置により、例年同様の研修活動が難しい中ではあったが、工夫しながら校種別研修を推進した。10月の合同研修会は、ZOOMによるオンライン研修で、一人一台PC端末導入を見据えた校長としての準備とともに、ZOOMでの校長会議の可能性を探る有意義な機会であった。例年、教頭会と合同で開催してきた学校経営研究会は、今年度別々に開催することとなったが、それぞれに職能向上のための大切な機会として準備を進めている。

大変な状況であるからこそ、今後も、校長相互が強い連帯感を持ち、関係機関との連携を密にし、校長自ら資質向上に務め、経営改善の意識を高める研修活動に努めたい。